

令和5年度

綾町自然生態系農業実践振興会 座談会

綾町憲章

豊かな自然と伝統を生かし、みんなの英知と協力で未来にひらく町をめざすため、ここに綾町憲章を定めます。

- 1 自然生態系を生かし育てる町にしよう
- 1 健康で豊かな活力ある町にしよう
- 1 青少年に誇りと希望をいだかせる町にしよう
- 1 生活文化に創意と工夫をこらす町にしよう
- 1 思いやりとふれあいで明るい町にしよう

日時 令和5年5月29日～6月2日 19:00～

場所 有機農業開発センター 2階大会議室

令和5年度 綾町自然生態系農業実践振興会 座談会

会 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 議題

- ① 令和4年度の活動実績及び決算について
- ② 令和5年度の活動計画及び予算について
- ③ 令和5年度の支部活動補助金について
- ④ 令和5年度の補助事業について

4 意見交換

令和5・6年度 役員名簿

綾町自然生態系農業実践振興会 役員

会 長	前田 清寿
副会長	清水 隆一
	花田 健二
監 事	海江田 兼光
	有木 重昭

綾町自然生態系農業実践振興会 各支部役員

支部名	支部長	副支部長	
倉 輪	宮本 庄二		
上 畑	前田 真琴	中村 孝幸	
四 枝	清水 隆一	豎元 弘信	
中 堂	前田 清寿	松井 道生	
揚 町	大隈 圭造	大隈 好剛	
宮 谷	相星 義廣	北野 則男	
二反野	山口 雅行	山口 かおり	
古 屋	園田 雄一	森山 俊弥	永田 吉敏
昭 和	歌津 秀昭	上村 英輔	
宮 原	松浦 重年	毎田 知幸	
神 下	日高 政行	関山 久義	
中 央	花田 健二	関 康博	
麓	長原 翔	杉江 康隆	
北 麓	福富 貴裕	田中 佑弥	
杓 道	多胡 武	森山 康彦	
割 付	福重 太陽	阿満 とよ子	
尾 立	倉田 真吾	西村 美穂	坂田 公子

事務局（農林振興課）

課 長	入田 賢一	
有機農業振興係	係 長	小八重 志保
	主任主事	後藤 公輔
	農政顧問	飯田 久雄
	有機JAS	湯地 乃奈

令和4年度 事業実績書

(活動実績)

新型コロナウイルス感染症の影響は続き、新しい日常・WITHコロナが求められた1年でした。また、農業分野においても、燃油や肥料など資材高騰など経営を圧迫されました。

実践振興会やその支部活動も多く制限をされるなか、関係農家の更なる発展のため、下記の活動を行いました。

月日	会合名	内 容	実施場所
R4. 5. 2	自然生態系農業 推進会議総会	通常総会	役場会議室
R4. 5. 11	自然生態系農業 実践振興会総会	令和4年度活動実績及び 令和5年度活動計画について	開発センター 2階大会議室
R4. 6. 7	自然生態系農業 実践振興会 役員会	座談会 打合せ	開発センター 2階大会議室
R4. 6. 13 ～ R4. 6. 17	実践振興会ブロック 別座談会	・令和4年度活動実績について ・令和5年度活動計画について ・種苗法について ・みどりの食料システム緊急対策 交付金について	開発センター 2階大会議室
R4. 7. 26	支部長会 (書面開催)	地区座談会報告	書面開催
R4. 8. 25	研修会	土壌分析について 農作業安全について	開発センター 2階大会議室
R4. 12. 15 R5. 1. 11 R5. 1. 19 R5. 2. 1 R5. 2. 8	研修会 (有機農業研究会 と共同開催)	有機農業を科学する研修会 「土づくり講座」 ①土壌の生物性 ②土壌断面調査 ③土壌診断結果を基にした施肥設計 及び肥培管理 ④リアルタイム診断の実践 ⑤総合的作物管理 (ICM) の実践	開発センター 2階大会議室
R4. 12. 22 R5. 1. 5 R5. 2. 16 R5. 2. 24 R5. 3. 2	研修会 (有機農業研究会 と共同開催)	有機農業を科学する研修会 「天敵利用講座」 ①科学防除の長所と短所 ②病害虫の発生メカニズムと現代農業 ③IPMを構成する各種防除技術および 生物的防除技術 ④天敵を活かし、働きを高める 農地づくり ⑤SDGsとしての農業と病害虫防除技術 の現場への適用方法	開発センター 2階大会議室
R5. 2. 21	研修会 (綾菜会と 共同開催)	BMW活性水について	開発センター 2階大会議室

●支部別会員と管理記録簿提出の年次変動

支部名	会員数						管理記録簿提出数						前年からの増減
	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	
倉輪	11	11	11	11	5	5	59	89	92	76	36	36	0
上畑	19	19	15	14	8	10	27	32	39	15	16	23	7
四枝	29	29	29	29	12	13	154	236	241	166	58	66	8
中堂	19	20	16	16	10	10	105	101	116	112	88	85	▲ 3
揚町	20	22	21	18	14	14	92	106	97	77	75	105	30
宮谷	11	12	12	11	7	7	27	96	150	57	48	51	3
二反野	9	8	8	8	8	8	147	150	158	145	143	132	▲ 11
古屋	31	32	32	32	16	15	176	188	198	209	188	174	▲ 14
昭和	25	25	25	17	9	10	45	76	98	71	39	43	4
宮原	34	35	31	30	17	16	89	137	155	100	75	98	23
神下	17	17	19	21	21	22	89	128	157	144	102	81	▲ 21
中央	24	27	26	23	17	17	159	254	237	209	111	119	8
麓	22	23	20	20	19	19	128	198	148	172	154	156	2
北麓	25	25	24	24	15	16	148	161	184	139	145	146	1
空道	20	15	16	16	10	10	70	101	105	127	38	43	5
割付	20	21	21	22	18	21	172	204	245	259	221	198	▲ 23
尾立	33	32	25	25	23	26	298	310	281	252	184	235	51
計	369	373	351	337	229	239	1,985	2,567	2,701	2,330	1,721	1,791	70

令和4年度 管理記録簿認定件数

支 部	産直露地	ほんもの センター	果 樹	施設野菜	合 計
倉 輪		36			36
上 畑		22	1		23
四 枝	5	48	12	1	66
中 堂	4	75	6		85
揚 町	1	90	14		105
宮 谷		44	7		51
二反野	5	125	2		132
古 屋	42	127	5		174
昭 和		31	10	2	43
宮 原	2	91	5		98
神 下		77	3	1	81
中 央		67	29	23	119
麓		117	30	9	156
北 麓	22	118	6		146
空 道	12	19	11	1	43
割 付		147	51		198
尾 立	20	187	28		235
計	113	1,421	220	37	1,791

支 部	産直露地	ほんもの センター	果 樹	施設野菜	合 計
金	112	1,236	95		1443
銀		90	11		101
銅		4	17		21
—	1	91	97		189
合計	113	1,421	220		1,754

支 部	産直露地	ほんもの センター	果 樹	施設野菜	合 計
金% A	99.1%	87.0%	43.2%		82.3%
銀% B	0.0%	6.3%	5.0%		5.8%
銅% C	0.0%	0.3%	7.7%		1.2%
— %	0.9%	6.4%	44.1%		10.8%

令和3・4年度 支部特別活動事例紹介

■支部活動特別活動

○四枝支部

活動内容	郷土料理教室
日 時	令和3年9月5日 午後
場 所	四枝公民館
参加者数	11名

○神下支部

活動内容	加工場視察（乾燥野菜工場視察）
日 時	令和3年8月5日
場 所	株式会社ドライアップジャパン（木城町）
参加者数	11名

活動内容	肥料会社視察
日 時	令和4年7月19日
場 所	大和フロンティア株式会社（都城市）
参加者数	15名

○麓支部

活動内容	先進地視察（水田ごぼう視察）
日 時	令和3年11月24日 8:30～16:30
場 所	JAはまゆう（串間市）
参加者数	12名

活動内容	最新の実証研究視察
日 時	令和4年11月24日（木）8:00～16:00
場 所	県亜熱帯作物支場
参加者数	13名

○杣道支部

活動内容	獣害・農薬について（講師：飯田顧問）
日 時	令和3年12月13日 19:00～20:00
場 所	杣道公民館
参加者数	8名

○尾立支部

活動内容	加工試作 ①キムチ作り ②みそ作り・すしの具作り 消費者交流 ③直売会（@工芸祭） ④直売会（@ほんものセンター）
日 時	①令和3年12月9日10:00～13:00、10日13:00～18:00 ②令和4年3月16日15:00～18:00、17日08:30～15:00 ③令和3年11月20・21日 ④令和3年11月27・28日
場 所	①②尾立公民館 ③工芸祭会場（てるはドーム駐車場） ④綾手づくりほんものセンター
参加者数	①6名 ②6名 ③会場5名、出品者10名 ④会場5名、出品者10名

活動内容	冷や汁・すしの具作り
日 時	令和4年7月14日
場 所	尾立公民館
参加者数	8名

※地区活動として、工芸祭（R4.11.20-23）、雛山まつり（R5.3.4～5）で直売会を実施

令和4年度 収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

項目	本年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備考
会費	119,500	122,500	▲ 3,000	@500円×239戸
補助金	2,005,000	2,005,000	0	町補助金 1,855,000円 JA補助金 150,000円
繰越金	283,959	283,959	0	前年度繰越金
雑入	23,107	38,541	▲ 15,434	預金利息・シール代
計	2,431,566	2,450,000	▲ 18,434	

2 支出の部

(単位：円)


項目	本年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備考
役員手当	76,000	76,000	0	会長 30,000円 副会長 2名×20,000円 監事 2名×3,000円
報償費	36,000	100,000	▲ 64,000	支部長・副支部長 会議出席報酬他 2,000円×18名
旅費	0	50,000	▲ 50,000	
需用費	63,085	50,000	13,085	「金」シール代他
通信運搬費	60,880	140,000	▲ 79,120	座談会資料送料他
研究費	0	100,000	▲ 100,000	
活動費	300,000	300,000	0	J A各協議会 ほんものセンター出荷部会 への補助
使用料・手数料	57,090	80,000	57,090	土壌分析システム使用料 振込手数料
負担金	34,000	100,000	▲ 66,000	土壌分析費用 500円×68検体
支部活動 助成金	535,000	1,415,000	▲ 880,000	基本的活動(7支部) 415,000円 特別活動(3支部) 120,000円
予備費	16,500	39,000	▲ 22,500	供花代(前田穰氏)
計	1,178,555	2,450,000	▲ 1,271,445	

(収入合計額) - (支出合計額) = (次年度繰越額)
2,431,566 円 - 1,178,555 円 = 1,253,011 円

監査報告書

令和4年度綾町自然生態系農業実践振興会の会計及び本決算書は、
審査の結果、収入支出ともに正当にして、相違ないことを認めます。

令和 5 年 々 月 27 日

監事 松井道生 

監事 山口雅行 

令和5年度 事業計画書

(活動計画)

本年はコロナ禍から脱却するきざしは見えつつあるが、ロシアのウクライナ侵攻から生じた世界情勢不安による燃油や肥料等の資材高騰により、厳しい農家経営状態が続いています。

こうした変化の中でも関係農家のさらなる発展のために、座談会支部別活動、農協生産組織活動を通じて自然生態系農業を推進します。

さらに、JA・町・生産者とが一体となって取り組みます。

月日	会合名	内 容	実施場所
4月	自然生態系農業 推進会議	通常推進会議	
〃	自然生態系農業 実践振興会総会	令和5年度の活動について	
5-6 月	ブロック別座談会	令和5年度の活動について	開発センター
〃	支部長会	座談会の意見に対する対応について	
7月	支部長研修(日帰り)	肥料会社視察	大和フロンティア(株) 南国興産(株) など
9月	研修会	農薬、農作業安全について	開発センター
10月	研修会	6次化研修	
11月	物販イベント	野菜即売イベント(仮) (工芸祭りとのタイアップ)	てるはドーム駐車場
1月	研修会	BMW研修会	開発センター
2月	視察研修	中晩柑&スマート農業展示会視察	県総合農業試験場 亜熱帯作物支場

令和5年度 収支予算書

1 収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額 (A)	前年度決算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備考
会費	120,000	119,500	500	@500円×240戸
補助金	1,505,000	2,005,000	▲ 500,000	町補助金 1,355,000円 JA補助金 150,000円
繰越金	1,253,011	283,959	969,052	前年度繰越金
雑入	21,989	23,107	▲ 1,118	シール代、預金利息等
計	2,900,000	2,431,566	468,434	

2 支出の部

項目	本年度予算額 (A)	前年度決算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備考
役員手当	76,000	76,000	0	会長 30,000円 副会長 20,000円×2名 監事 3,000円×2名
報償費	150,000	36,000	114,000	出会手当 講師謝礼等
会議費	200,000	0	200,000	会議お茶等
旅費	50,000	0	50,000	支部長研修旅費他
需用費	80,000	63,085	16,915	参考誌購読料、シール代
通信運搬費	80,000	60,880	19,120	切手代、はがき
活動費	300,000	300,000	0	J A各協議会・生産出荷部会への補助
使用料・手数料	60,000	57,090	2,910	土壌分析システム使用料他
負担金	0	34,000	▲ 34,000	土壌分析会負担金
支部活動助成金	1,775,000	535,000	1,240,000	標準活動費助成 1,095,000円 上乘せ活動費助成 680,000円
予備費	129,000	16,500	112,500	
計	2,900,000	1,178,555	1,721,445	

支部活動費助成について

令和3年度から、支部役員の手当など支部の運営を助成する「基本的活動の助成」と、研修などの実際の支部活動に応じた「特別活動の助成」の2つに分けて、助成を行っています。

助成を受けるには、それぞれに事前に申請が必要です。詳細は下記内容をご確認ください。

記

提出書類及び記載内容

1、基本的活動の助成

交付申請 (締切：令和5年6月末まで)	実績報告 (締切：令和6年4月10日まで)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付申請書 ・ 支部の年間計画書 (日時、場所、目的、内容、予算など) ・ 支部会員名簿 <p>※ 助成金額 65,000 円(定額) (副支部長がいない場合は、55,000 円)</p> <p style="margin-left: 20px;">内訳 支部長手当分 15,000 円 副支部長手当分 10,000 円 支部運営費分 40,000 円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施報告書 (日時、場所、内容、費用など) ・ <u>支部総会資料</u> ・ <u>通帳の写し</u>

2、特別活動の助成

交付申請 (締切：令和5年7月末まで)	実績報告 (締切：令和6年4年10日まで)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付申請書 ・ 研修等の実施計画書 (日時、場所、目的、内容、費用など) ・ 参加予定者名簿 <p>※ 助成金上限額：40,000 円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施報告書 (日時、場所、内容、費用など) ・ 参加者名簿 ・ 写真 研修を受講していることがわかるもの 例：参加者の集合写真など ・ 領収書 <p>※ 領収書がない支出額は、返金となります。</p>

令和5年度補助金事業一覧

○町の補助事業

No.	事業名	対象者	対象経費	補助率	補助条件等
1	環境保全型農業直接支払交付金事業	農業者、農業団体	環境保全型農業に要する経費	定額	10aあたり事業費16,000円を限度とし予算の範囲内とする
2	施設野菜生産拡大事業	農業者、農業団体	施設ハウス生産拡大、スマート化に伴う機器導入に要する経費	町1/3以内	予算の範囲内とする
3	施設ハウス整備事業	中古ハウスを活用して就農、面積拡大を図る農業者	中古ハウス整備に要する経費	資材費及び資材撤去費の1/2以内	10aあたり事業費1,000千円を限度とし予算の範囲内とする
			中古ハウス移設に要する経費	移設費の1/2以内	10aあたり事業費2,000千円を限度とし予算の範囲内とする
4	中山間地域等直接支払い交付金	集落協定地区	傾斜農地の維持管理に伴う集落活動に要する経費	国1/2 県1/4 町1/4以内	国の基準により認定を受けて実施されるもの
5	多面的機能支払交付金	集落協定地域	地域の多面的機能を支える共同活動に要する経費	国1/2以内 県1/4以内 町1/4以内	予算の範囲内とする
6	鳥獣保護区等被害防止対策事業	農業者等	農作物を有害獣から保護するための電牧柵・爆音機・サル侵入防止柵等の設置に要する経費	町2/3	宮崎県補助金基準単価以内とする
7	優良農地等再生整備事業	認定農業者等	遊休農地の復元、老朽ハウス等の撤去及び復元農地の活用に関する経費	定額	予算の範囲内とする
8	有機JAS資材実証事業	農業者、農業団体	公表リスト資材肥料の施肥試験に要する経費	1/3/10a以内	予算の範囲内とする ※要望があがり次第予算化

※協議会からの補助事業（実施予定）

No.	協議会名	補助事業者	補助対象経費	補助率	補助条件
1	綾町施設野菜病害虫対策協議会	農業者（施設野菜）	ホリバーやトルシーなどの捕虫シートの購入経費	1/3	一斉除草実施後に捕虫シートを設置したもの